



初夏の祭り  
(菅浜須可麻神社例祭&久々子弁天祭)

- 6月定例会…………… 2
- 常任委員会報告 …… 4
- 一般質問 …… 6
- 各種委員会報告 …… 10
- 編集後記 …… 12



# 6月定例会 (6月8日~21日)

美浜町議会6月定例会は、6月8日から21日まで14日間開かれ、23年度一般会計補正予算など7議案と意見書提出要請2件について、慎重に審議し、原案どおり可決しました。15日には、新庄区、有害獣防止柵の設置状況、嶺南変電所、関西電子ビーム(株)、北田・菅浜間の崩落箇所の現地視察を行いました。

# 平成23年度一般会計を補正(肉付け)

総額 80億8,800万円に

契約案件

●平成23年度一般会計補正予算(第1号)

補正予算額 6億2,444万円

総額 80億8,829万円

3月議会で決められた23年度一般会計予算は町長選挙年度に当たって、主な政策課題の入っていない骨格予算であった。6月議会では別表に示す政策に沿った予算(肉つけ予算)を補正、増額して決定した。



## 平成23年度一般会計6月補正予算概要

◎ 予算規模 補正予算額 624,442千円 補正後予算総額 8,088,290千円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:千円)

款	予算額	主要事項	金額	備考
衛生費	1,637	健康づくり推進事業	1,637	健康みはま21計画改定アンケート委託、はあとびあまつり補助
農林水産業費	108,895	有害鳥獣対策事業	15,643	侵入防止柵設置工事測量等委託、狩猟免許取得補助、生息調査補助
		〔嶺南連携事業補助金〕丹生漁港環境広場運営事業	5,775	釣堀用仕切網の製作
商工費	37,879	若狭美浜観光PR事業	4,446	映画誘致企画製作業務委託料
		〔嶺南連携事業補助金〕白浜海岸遊歩道整備事業	18,133	白浜海水浴場・オートキャンプ場間の遊歩道を整備
		〔嶺南連携事業補助金〕新庄里地里山整備事業	15,000	変電所・大日間の遊歩道整備、大谷原のトイレ等整備
土木費	153,250	〔町単〕急傾斜地崩壊対策事業	5,252	日向急傾斜地崩壊対策のための測量、調査、設計業務委託
		嶺南圏域総流防事業	64,000	日向急傾斜地崩壊対策工事(3箇所)
消防費	36,651	自主防災組織整備事業	1,600	自主防災組織設立に向けて、各地区に対し、資機材購入等を補助
教育費	54,188	〔市町振興プロジェクト事業〕町民レガッタ事業	8,197	第24回町民レガッタ経費ナックル艇購入(6艇)
		〔市町振興プロジェクト事業〕交流推進施設整備事業	28,057	艇庫建築工事等

# 6 月定例会 議案審議結果一覧

◎満場一致可決 ○多数決可決 △保留 ×否決

審議項目	結果	審議項目	結果
専決処分の承認（美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）	◎	美浜町生涯学習施設整備基金条例を廃止する条例の制定について	◎
平成23年度美浜町一般会計補正予算（第1号）	◎	町道路線の廃止について	◎
美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について	◎	町道路線の認定について	◎
美方地区農村情報化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎		

### 条例案件

● 専決処分の承認、美浜町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額を1万円、後期高齢者支援金等課税額の課税限度額を1万円及び、介護納付金課税額の課税限度額を2万円引き上げるものです。

● 美浜町税条例の一部改正

東日本大震災の被災者等の負担軽減を図るため改正するものです。  
個人住民税関係、固定資産税関係

● 美方地区農村情報化施設の設置及び管理に関する条例の改正

テレビ放送がアナログ放送から地上デジタル放送へ完全移行されることに伴い、機器の切り替えが必要のため、関係規定の改正をするものです。

● 美浜町生涯学習施設整備基金条例を廃止

美浜町生涯学習施設整備基金の

処分に伴い、廃止するものです。

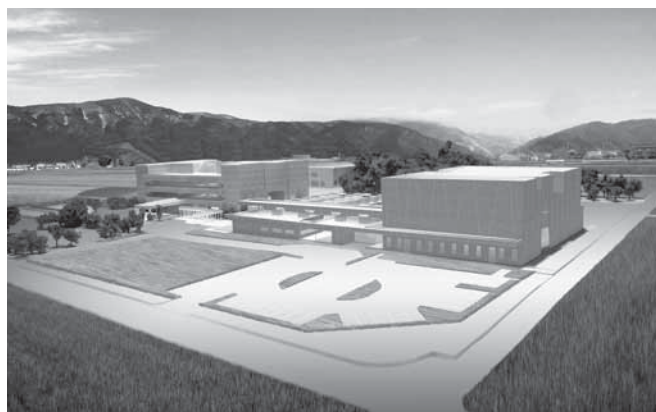
### その他案件

● 町道路線の廃止

農道への変更に伴い、町道路線を廃止するものです。  
坂尻・久々子線4、623m、久々子26号線148m、久々子34号線400m

● 町道路線の認定

農道への変更に伴い、新たに町道路線を認定するものです。



生涯学習センター完成鳥瞰図

坂尻・久々子線1、273m、久々子39号線209m

### 意見書提出要請

● 安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた要請

● 原発事故を踏まえた安全対策に係る要請



生涯学習センター起工式

# 常任委員会の動き

6月定例議会では13日、14日の両日に常任委員会を開催し、それぞれに付託された議案について、慎重な審議が細部にわたって行われた。主な討議内容を報告いたします。

## 総務文教 常任委員会

4件付託

### ◎平成23年度美浜町一般会計補 正予算(第1号)

(議会費)

**問** 議員共済費の支出は、今年度以降も続くのか。

**答** 今後も、一般財源からの支出として継続する。

(総務費)

**問** 地域コミュニティバスの待合所の未整備箇所はまだ残っているのか。

**答** 今年度で一応完了する。

(民生費)

**問** 南川福祉学園増改築工事補助事業費の負担明細は。

**答** 知的障害者施設の耐震工事と5床の増設による。美浜町3人の人数割り負担となっている。

**問** 子育て支援センターの委託料、施設改修の内容は。

**答** 委託はシルバー人材センター、改修費は遊具の設置費用になっている。

**問** 地域密着型サービス拠点整備事業の進捗度、地元説明は進んでいるか。

か。また、予測される雇用は。

**答** 鉄骨3階建て、6月末入札、4〜5億の事業費で、地元との説明については、以前から区長や周辺住民の方から個別に心配される事項をお聞きし、既に設計等に反映している。建設業者が決まり次第、最終の説明会を実施する計画だが、対象者、実施方法については区長と相談して実施する。また、雇用については事務、介護、看護、調理職員のパートなどを含めると約33名程度と予測している。地元優先する予定である。

**問** (衛生費) 健康づくり推進事業の費用明細の内容及び、従来の同じような事業との関連、重複がないのか。事業の区切りの説明が行われていないのか。

**答** 調査員は福大の先生・学生にお願いしている。アンケートの業務委託は、次期健康づくりの資料を得るため。アンケートの作成や発送は町で行い、集計を業者に委託する。先の業務委託の結果は福大からの報告会でお知らせしている。

**問** (農林水産費) 有害獣侵入防止柵の今年度の予定は。建設中の高速道路の防護柵にも対策の工夫をしたらどうか。

**答** 今年度、12集落約50kmの予算を国へ申請したが、確定したのは約20km分。今後、実施集落を検討する。高速道路の防護柵は、話し合いをしていく。競争力のある福井米づくり事業の補助内容は。

**問** カントリーと倉前出荷検査に使用する食味分析計の導入に対する補助で、県50%、町25%の補助である。

**問** 魚礁機能回復事業の内容は。

**答** 日向沖などのウニ魚礁へのブロック製作と投入費用に対する補助である。

**問** (土工費) 白浜海岸遊歩道整備事業及び、新庄里地里山整備事業はいつまでか、又誘客の効果を見て、更なる整備が必要となるのではないか。看板、アクセス道路など、あと一押しが必要ではないか。

**答** 白浜海岸遊歩道工事は23年単年度で完了、周辺との関連で誘客増が期待される。新庄里地里山整備事業は2年事業の最終年度である。更なる整備は今後の経過を見て必要あれば計画する。

**問** ファミリー海水浴場の費用の運用と、実施の効果は。

**答** 観光協会の事業で、今年度で完了するように聞いている。

**問** 若狭美浜観光PR事業、映画「サクラサク」の委託料内容は。映画では美浜が一部ではないか、県や他の市町でも期待して委託料を出しているのか。

**答** 委託料は事前調査費のみ、現時点では県と折半である。シナリオでは、最終章が美浜となっている。

**問** 5月末の豪雨で流出したゴミが海岸に漂着して汚いが、海水浴シーズンまでに清掃するのか。

**答** 重機を入れて清掃する事を計画している。

**問** (土木費) 橋梁長寿命化修繕計画策定事業とは。過去にも有ったのではないか。

**答** 15m以上の橋に対して行うもので。違いは前回は補修の為、今回は寿命延長の為である。

**問** 町営住宅各種設備等業務委託料、工事請負費の内容は。

**答** 金山住宅では空き家のごみ処理で、棟の統合や解体は現状では考えていない。自然災害等の被害は内容に応じて保険で対応する。佐田住宅は木の伐採と、棟の解体を実施する。

**問** (消防費) 自主防災組織整備事業の進捗度は。

**答** 自主防災組織整備事業の進捗度は。



平成22年度に整備されたコミュニティバス停(野口)

**答** 各集落での説明会が進んでおり、すでに組織を立ち上げてくれた集落もある。今年度中に20集落を目標としている。

(教育費)

**問** 美浜文化掘り起し事業の内容と、リクレーション傷害保険料とは。

**答** 町誌編纂事業の残資料を活用して、歴史講座等への活用を計画している。傷害保険は、町内見学者を対象とした保険である。

**問** 全国市町村交流レガッタ事業において、より美浜町を売り込むための工夫をするとはいいのでは。例えばオールに「へしこちゃん」等。

**答** 今後、検討して行きたい。

**問** 艇庫建設工事の内容は。

**答** 合計18艇を収容できる大きさで、オールや救命道具も収納する予定。艇は22〜24年度で揃う。

**問** 美浜町条例の一部を改正

**答** 東日本大震災の被災者が美浜町に移住した場合に適用されると理解して良いか。

**答** そのとおりである。

**問** 美浜町条例の一部を改正

**答** 美浜町条例の一部を改正

**問** 美浜町条例の一部を改正

**答** 美浜町条例の一部を改正

なるのか。

**答** ホームターミナルがセフトトップボックスに変わることによって、録画が出来なくなることはない。但し、著作権保護の為、放送側からの制御によってコピーが1回しか出来ないことが出てきている。

**問** 美浜町生涯学習施設整備基金条例を廃止

**答** 質疑なし

**問** 産業厚生常任委員会

**答** 5件付託

**問** 専決処分の承認を求めることについて(美浜町国民健康保険税条例の一部を改正)

**答** 国民健康保険税の課税最高限度額の対象は29世帯と聞かすが、詳細を説明して欲しい。

**問** 国保税に関する医療給付分は現在課税限度額は50万円を対象は29世帯、他に後期支援分対象は37世帯、更に介護納付分対象は28世帯が該当する。

**答** 額で1万、2万の限度額引き上げというの、全国的に一律か。

**問** 全国一律です。

**答** 理由は何か。地域によって考え方が異なるように思うが。

**問** 地方税法施行令の改正によって定められた。

**答** 地方税法施行令の改正によって定められた。

**問** 地方税法施行令の改正によって定められた。

**答** 地方税法施行令の改正によって定められた。

◎町道路線の廃止

**問** 廃止の理由についてももう少し具体的に説明を。

**答** 農道に移管する理由は梅街道の路盤、舗装の傷みが激しく、補修経費が高いので、県に舗装改良をお願いしたところ、今回要望に応じて改修してもらえなくなった。そのため町道から農道に移管するものである。

**問** 梅街道と同時に整備した久々子34号線以西の整備の必要性はないのか。

**答** その箇所の路線は整備の必要がある。路盤も舗装も悪く改良の余地がある。しかし久々子34号線以西については、国土交通省の事業で整備されているため今回の農水省の補助には乗れない。

**問** 小浜までの梅街道は行政によって国交省や農水省等所管の省庁が違うのか。

**答** 急いで整備したので美浜町はいろいろ混ざっている。ほかの自治体でもそういう状況にあると思う。

**問** 除雪体制で、町道は対応してくれらるが林道は対応してくれなかつた。農道は対応するのか。

**答** 主要道路なので除雪は行う。

**問** 過去の経緯で、梅街道の整備要望団体がありその解散式に梅街道全線を県道にしてほしいという要望があった。その辺りの動きは。

**答** 若狭町と美浜町で梅街道の協議会を作っていた。金額の補助率で言う町道、農道、県道という順序で対応がよくなる。田島より向こうは県道、しかし美浜町と若狭町はほとんど農道で整備している。農道を県道にという例が無いように結局願いは実を結ばなかった。今回町道のままでは、農林水産省所管の補修が受けられないので、現実路線として農道を選択した。しかし小浜から高浜道にしてほしいという願いはある。

**問** 町道路線の認定

**答** 質疑なし

**問** 意見書提出要請

**答** (1)安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた要請は、全員賛成をもって、意見書を提出する。

(2)原発事故を踏まえた安全対策に係る要請は、全員賛成をもって、意見書を提出する。



改修された梅街道

# 質 問

6月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、いただきました。



兵庫 賢一 議員

## 問 東日本大震災に 対応した防災対策を

## 答 国、県の指針に沿った 対応を取っていく

**問** この度の東日本大震災の様な未曾有の大規模な複合災害を受けて、町民に不安が広がっているが、わが町としての今後の防災体制・原子力政策をいかに進めていけるのか。

**答** 一般災害では、急傾斜地対策・砂防対策・道路の強化などがあるが、全国的には20〜30%しかやれておらず、今後も公共事業の現状を見ると、全く追いつかない。イエローとかレッドゾーンを設けて啓蒙し、避難を

呼び掛けている。

原子力に関しては、原子力行政を進めていく以上、放射能を出さない対策は幾ら金がかかってもやらなければ立地してはいけないと考えている。今回は残念なことになったが、今後はまず安全対策、防災対策はその次に来ると考えている。

**問** 原子力発電所の事故により、想定されていた10kmを超えて、20km超が避難対象地域に指定される事態になり、避難対策の検討を始めた自治体が出てきたが、わが町は如何に考えているか。また、巨大津波を想定した対策は如何に。

**答** 町の原子力防災計画の策定が急がれるが、国の災害対策基本法、原子力安全委員会が示す防災指針に基づき、県の防災計画もそれに基づいており、国が基準を示し、県と町が順に体制をとっていかねばならず、現時点で町独自で体制を取れるものではない。津波の大きさの予測は我々では困難なので、県に対して浸水予測地域の見直しを要望している。今後、国の中央防災会議の状況を踏まえて計画の改訂がされるが、当面2.5mの津波に対応する地域を把握し準備をしている。

**問** 避難所について、町が指定している第一次避難所は耐震強度・安全面・機能的な面で充分といえるか、点検整備して行く必要があるのでは。集落のセンターは協働のまちづくりの拠点としても整備していくべきである。

**答** 一時避難所は大雨や暴風雨などで被害が及ぶ場合に、一時的に避難できる場所として指定している。大規模な地震や風水害に対しては、町の災害対策本部で別の安全な場所を指定して、非難準備情報を出し避難勧告、避難指示と体制を強化、住民に周知していく体制をとっている。指摘の施設について耐震を強化する必要があると考えているが、まずは避難生活をする場所としての地区の避難所、拠点避難所としての小中学校等の耐震強化を優先している。



一時避難所を表示する立看板

## 問 町の原子力対応 (再起動・リプレース・ 中間貯蔵)を明確に

## 答 いずれも安全最優先、 中間貯蔵は必要

**問** 原子力発電所美浜1号機、3号機は事故を起こして停止したのではない。13ヶ月に一度の定期検査のために停止したのだ。定検が終わり健全性が確認されれば動かすのが普通であると考えられるが、もし、1・3号機の起動に不安があるのなら、現在運転中の2号機も不安である事には変わりない。一定の安全対策が行われるまでは全て停止するべきではないか。



竹仲 良廣 議員

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

**答** 町としての原子力に対する関与は、安全協定から運転、停止という直接的な権限はない。ただ、定期検査が終わって再稼働する時の対応として立地の同意が必要になってくる。そういうことを念頭に置いていただく中で、1、3号機を起動させるには、いくつかの知見や緊急、中長期対策に疑問点が残るので、現段階での再稼働は難しい状況にある。

**問** 福島第一発電所の事故において現段階では高経年化が事故の原因と特定されていないが、昔の設計思想に基づき作られた原子炉を動かして行くことに対する町民の不安は大きい。高経年化炉が技術的に問題はなくても、古い炉は早く止め、早期に後継機へ置き換えるべきであると考えられている。

**答** 私も同感である。リブレースについては関西電力内部においても理解が進んでいると思う。しかしながら、福島第一原子力発電所事故を受け、今は早急に進めるようにと申し上げる時期ではない。原子力発電は今後も必要であるという思いから、リブレース、長期運転を含め、関西電力から今後の方針をしっかりと調査の上、示して頂けるものと思う。

**問** 今回の福島第一発電所が大きな事故につながった要因のひとつに、原子炉の中に多くの使用済み燃料があったことだ。関西電力美浜発電所は今後の事故拡大回避のために現在プールで保管している使用済み燃料を乾式キャスク等に入れ、早期に発電所敷地外へ移設すべきと考えるが。

**答** 美浜原子力発電所の場合、福島第一原子力発電所と違い、事故で使用済み燃料プールの水位が低下しても容易に補給ができる位置に設置されているので安全であると考えられる。中間貯蔵施設として使用済み燃料を敷地外に保管する必要性は実感している。関西電力は県外設置を進めているのでその推移を見極め、地元という話があれば相談に応じる用意はある。



美浜発電所の全景



倉田 愛子 議員

**問** 企業誘致は成功しているか。今後も推進するのか。

**答** 長い目で見て行く。今後も企業誘致は大切。

**問** 本町における産業の振興を促進するため、平成17年12月に美浜町企業誘致条例が制定され、エアグリーン社、株式会社フェアリーエージェンツ、へしこ館が誘致されました。株式会社フェアリーエージェンツには、大変期待をしておりますが、2010年には社長も代わり、会社の経営方針が変わり、会社名も変わったと聞きました。昨春秋に雇用した人を、本年春には解雇になった人もいるとも聞いて居ります。3社の経営状況と実

態調査をされているのでしょうか。また、企業誘致したことにより、美浜町に経済の発展と雇用の拡大が有ったと思われませんか。将来も企業誘致を考えておられますか。お尋ねをいたします。

**答** これまで3社に対して、延べ約1億7,500万円の助成をいたしました。これは条例に基づいて行ったわけでございます。そして21年、22年で固定資産税と法人町民税の総額は約3,800万円ありました。それ以外には、働いておられる方の住民税、あるいは町内にあるための二次的な効果も考えるところなりの効果は、有ったと思っております。



企業誘致条例に基づき誘致した野菜工場（現在改装中）

# 質 問

6月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、いただきました。



松坂 隆司 議員

**問** 原発が立地する町は何かとハコモノが存在し、今後は維持・管理も含め財政を圧迫することが想像できる。今回の震災により国の政策によっては、現在の行政のありかたでは無力な状態ではないか。

**答** 国が示す方針、政策を基礎としてやっている町は当然のみ込まれると思う。のみ込まれないほうがおかしい。町に受けるこの影響は非常に大きいと考えている。

**問** 美浜町は身の丈に合ったハコモノをつくってきただろうか。今後はどうなのだろうか。

**答** 今日を支えてきた高齢者や高度経済成長を担ってきた世代も多く、そういう人に報いていくということも、町として必要であると考えている。現在美浜町で行っている事は第4次美浜町総合振興計画にのっとり、町民で立ち上げていただいた中身を具体化しながら、進めている必要なものばかりであると考えております。

将来の負担はあるのかもしれないが、そういうものをつくって、美浜町の衰退を少しでも止めていく、あるいは活力を増していくというためにも、今やらなければならないことを、ずっと年代を追って進めていると考えている。そういうものを町民はもちろん、外部から来ていただいた人にも活用していただく、これは集客を考えて運営をしていく必要もあると考えております。

**問** 町の今の方向性、今後の方向性はどつなっているか。

**答** 美浜町のまちづくりの大方針は、第4次美浜町総合振興計画を基本に動いているのでこの方針にそって進めていきたい。広域でできる

ものは広域、あるいは町内でも再編できるものは再編、そして若い世代の人に負担にならないように、当然考えていかなければならない。

**問** 将来的に次世代に対しどう育て、伝え、託し、援護していくのか、経験者が培った経験を、しっかりと次世代にバトンパスしていくか。

**答** 今、生活している者が若干の犠牲を払うのはやむを得ないかもしれないが、お年寄りに配慮していく必要があると思っている。考え方や施策を町民に示しながら調整していきたい。



総合体育館

**問** 美浜町の将来を見据えた道路整備基本構想の策定を

**答** 地域にまたがる構想は描けない。道路政策は順次、進める。



浜野 健治 議員

**問** 今回の福島第一原子力発電所の事故を踏まえた美浜町全域の防災道路についての構想はあるのか。特に、敦賀半島の県道は崩落の危険性が高い。高規格の道路が必要ではないのか。

**答** 新しく、大きな規格の道路は町域を越えていて難しい。県域、広域の問題なので機会をとらえて考えて行きたい。



# 般

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。



信号を起点に伸びる渋滞

**問** 隣接する市町と繋がる道路は経済発展、観光促進、人員交流等

**答** 道路行政は多額の財源、地域間の繋がり、地権者が絡む事で難しい。先ず町内を走る27号線の整備を23年度から事業化していく。地域住民及び地権者の理解をお願いしたい。

**問** 平成26年、完成を迎える高速道路及び国道27号線を幹線とした美浜町の生活道路の整備は検討しているのか。

**答** 美浜町側の佐田から丹生を繋ぐ新たな県道の調査は県にお願いした。

**問** 複数の原発を抱える敦賀半島の県道は脆弱、防災道路の拡充をお願いする。

に役立つ。整備は検討しているのか

**答** 半島西側と敦賀側と繋ぐ道路の構想は、推進協議会の場で進める。新庄と旧今津町、マキノ町を繋ぐ道路は滋賀県側の事情で停滞している。佐野又は新庄と旧三方を繋ぐ道路、日向と海山間は構想にはない。今後も水害等の防災対策を優先し、安全な道路確保に努力をして行く。

## 最近の大規模自然災害 に対応する避難所、道路の整備を

**答** 一時避難は災害に合った対応で避難



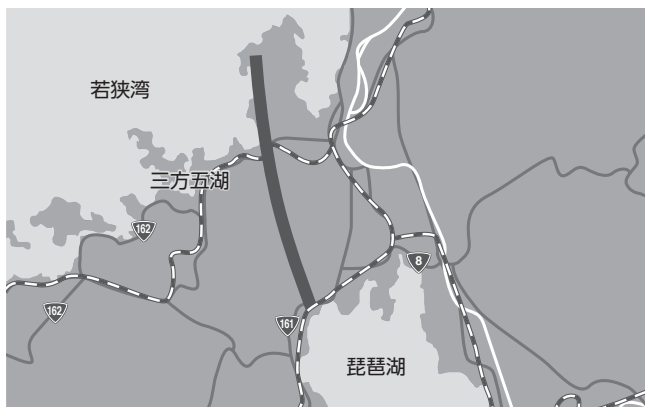
藤本 悟 議員

**答** 災害の種類、被害程度はいろいろ想定が出来るので、地域に合った対応を区と相談して進めたい。

**問** 町内は高齢化社会に突入しており、緊急の避難等に対応しきれない住民が増加していると推定される。町長が提案された防災安全室の設置に伴う防災対策の強化と、地域の自主防災組織の結成普及活動を強力に推進してもらいたい。

**答** 東日本大震災で津波の問題が出てきたので、新たな知見としてこういう災害の場合には、この避難所は使えるか、使えないか明確にしていきたい。又、避難所の強度、高さ等チェックしてあり方を今後検討していく。道路については、新庄地域、佐田から丹生の間の点検は急いでやって、危険な時には通行止めにして直接災害に遭わないようにするのが重要と考えている。

**問** 近年風による災害が発生し、記録的な降雨、降雪が記録されている。県道の土砂崩壊が発生した。降雪時に通行止めが実施された。県道、町道も含め危険箇所をチェックし、道路の安全確保をすべきである。又、避難所のあり方も検討する必要があると思つが。



新庄と旧今津を結ぶ構想図

**答** 新庄と滋賀県を結ぶ道路の計画は過去、町同士で協議会を立ち上げ議論はしてきた。その後、滋賀県側の市町村合併が行われ、現在は話しが途切れている。

**問** 今回の東日本大震災に伴う原子力防災道路は必要で、緊急を要するためには大きく迂回するのではなく、直線的に避難が出来る対応、すなわち東地区から新庄、滋賀県を直線で結ぶ防災道路があっても良いのではないかと考えますが、町長のご意見をお伺いいたします。

# 各種委員会報告

## 全員協議会

〔美浜原子力発電所関係〕

全員協議会・美浜原子力発電所関係

- (1) 東北地方太平洋沖地震を踏まえた対応状況説明会（関西電力㈱）
- (2) 福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策実施状況の確認結果（経済産業省 原子力安全・保安院）

5月17日と6月24日、議会全員協議会が開催され、標記2点の説明会が開かれた。

- (1) 関西電力㈱美浜発電所からは、国の「緊急安全対策」指示に対する実施状況の説明と、その諸対策に対する検証が実施され、原子力安全・保安院から「緊急安全対策」が適切に実施されている旨の判断が出ている事の説明があった。

議員からは、緊急安全対策そのものの不備に対する指摘や、緊急時の作業員の補給体制、更には多くの送電用鉄塔の耐震強度についての恒久対策の必要性の指摘があり、事業所として更なる検討を要請した。



6月24日 全員協議会

- (2) 経済産業省 原子力安全・保安院からは、関西電力㈱が「緊急安全対策」について、その実施状況の報告通り、適切に実施されている事を検証したこと、更に、中長期対策として提出されている事項についても、今後厳格に確認していく旨の説明が

あった。又、浜岡原子力発電所の停止の指示に対する国の見解の説明もあった。

議員からは、浜岡発電所を停止する理由が釈然としない、浜岡が定めなら国内すべての発電所はだめとの判断が必要ではないのかと言う意見に続いて、事業所の報告をその通り検証して安全と宣言したり、過酷な条件下で社員が復帰作業をしている事を承認したり、原子力安全・保安院の見解が、国のトップの発言に活かされていない事に対する経済産業省原子力安全・保安院の体制に対する不備等を指摘して終了した。

〈原特委員会記〉

## 議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会は、全議員での討議を実施しており、活発な意見が出ています。

全員で、活性化特別委員会の必要性、議員間（複数議員）討議の必要性、自己研鑽の必要性、議案の本会議前の検証の必要性、一般質問の改善の必要性、議会報告会の必要性、議員定数、報酬の議論の必要性等を共有しました。

更に、具体的には町民に議会内容をより知っていただくために「議会の情報公開」を積極的にすすめる、MMネット放映

の有り方、「議会だより」の更なる充実、「議事録公開」の方法を討議しました。

MMネット放映に関しては、若狭町との話し合いや、「議会報告会」の進んでいる京丹後市への視察研修等を実施して着実に進めております。一般質問の方法の改善や、MMネットの放映時間を延長して、全部を公開する事も考えております。町民の皆様も是非、議会に足を運んで頂き、傍聴をして頂けると幸いです。

〈浜野記〉

## 議会の傍聴にお越しく下さい。

美浜町議会では「開かれた議会」を目指し、本会議や委員会、全員協議会を公開しています。

会議の傍聴は、会議当日、役場3階の議会事務局にて受付いたします。

なお、会議の日程は行政チャンネルやホームページでお知らせします。

お問い合わせ

議会事務局 ☎32-6711



**意見交換会**  
【美浜町の小学校環境について】

去る4月27日、美浜町内に7校ある小学校の中長期的展望にたった再編計画について、議会と行政との間で意見交換会を行いました。以前にも行政側からの申し入れがありましたが、最初から統廃合ありきの話には乗れないとの意見が多く、仕切りなおしての会議が持たれました。

学校教育課から、各小学校の児童数の現状及び平成27年度までの推移についての説明がありました。それに依れば、現

在4校で複式学級を取り入れ、なんとか学級運営を維持している状況と、このまま推移すれば平成26年度には1校、平成27年度にはもう1校が児童数10名を割り込み、あと2校が20名台になり、極めて厳しい状況に追い込まれるとのことでした。その為平成26年度を中途として、これまでに該当する一部校区の区の役員や保護者の方々に対し事前説明とヒヤリングを行ったとのこと。

各議員からは、現状は理解するものの、「少人数の教育効果も無視するべきではない」「短絡的に統廃合すべきでない」「統合についても一義的に決めることなく地域の実情を考慮した工夫が必要である」「一度廃校にしてしまうと再度学校が出来ないだろうから、休校の様な措置は取れないか」「廃校により地域が益々疲弊し人口減少に拍車がかかる」「減少傾向の流れに流されるばかりでなく、町や地域の活性化のため、それぞれの地域での取り組みや努力を支える事も検討すべきである」等の意見が出ました。

〈兵庫記〉

**町議会広報研修会報告**

平成23年6月2日、福井県自治会館にて町議会広報研修会が行われました。講師の城市氏の30年以上の出版業界に携

わって来た経験から、字詰めや行間の工夫、タイトルや写真の効果的な方法他、読者目線の編集方法を教えていただきました。そして美浜町議会だより春号を精査して頂き、改善方法や今後の課題等も教えていただきました。今後の議会だよりの誌面向上の為に、ここで学んだ事を活かしていきたいと思えます。

〈松坂記〉

**福井県町議会議員研修会報告**

平成23年7月4日、福井県自治会館にて福井県町議会議員研修会が行われました。演題は最近の議会改革の動向と求められる議会の役割。講師は福井県町村議会議長会統括参事伊藤浩氏。内容として、

- ① 地方議会に対する住民の評価と地方議会の現状
  - ② 地方議会活性化研究会報告より  
↳ 活性化の考え方
  - ③ 各町の取り組み事例
  - ④ 状況提供（新聞記事等）
  - ⑤ 今後議会が進むべき方向は？
  - ⑥ 地方自治法の一部改正について
- 各町の状況を踏まえ講師と議員との意見交換がありました。

〈松坂記〉

**美浜町選挙管理委員と補充員が決まりました。**

6月定例会において任期満了に伴う美浜町選挙管理委員および補充員の選挙が行われ、次の方が当選されました。（敬称略）

〈選挙管理委員補充員〉		〈選挙管理委員〉	
中川 速雄氏 (早 瀬)	西村 亨氏 (久々子)	知場 市三氏 (日 向)	浅妻 勝美氏 (大 藪)
中谷 恒雄氏 (河原市)	中村 正勇氏 (菅 浜)	木村 孝氏 (野 口)	納谷 力氏 (丹 生)

# 議会の動き

4月12日	議会広報特別委員会
22日	関西電力美浜発電所視察
27日	全員協議会
5月15日	第23回美浜・五木ひろしまラソン
17日	原子力安全・保安院との意見交換会
18～19日	議会活性化特別委員会視察研修(京丹後市議会)
31日	美浜町生涯学習センター安全祈願祭
6月1日	議会運営委員会・町長との意見交換会
2日	議会広報研修会(福井市)
4日	町内各小学校運動会
6日	県道佐田竹波敦賀線・竹波立石縄間線道路整備促進期成同盟会総会、敦賀美浜地域開発協議会
8日	第4回美浜町議会定例会
9日	全員協議会
10日	一般質問
13日	総務文教常任委員会
14日	産業厚生常任委員会
15日	現地視察
16日	全員協議会
18日	敦賀美方消防大会
21日	全員協議会、本会議、議会活性化特別委員会、議会広報特別委員会
23日	美浜・若狭両町議会意見交換会
24日	全員協議会

## 6月議会 現地視察

会期中の6月15日、現地視察を行いました。

- (1) 新庄の有害獣侵入防止恒久柵設置の進捗状況視察から始まりまし。浅ヶ瀬地区に設置中の柵は高さが約2.5mでイノシシ、シカ、サルを防止する構造になっていて、順調に工事が進んでいます。
- (2) 新庄の関西電力嶺南変電所では変電所の高経年化と総電力量の変化に対応するため、供給信頼度を高める設備の改修、改良工事が進んでいます。
- (3) 松原の工業団地に建設された関西電子ビーム株式会社の建物はすでに完成し、機器の調整に入っております。この会社では、高電圧の電子ビームを材料に照射する事により、滅菌や材料の改質を行うもので、9月末からの操業を予定しております。
- (4) 県道佐田竹波敦賀線、北田地係の崩落現場はその規模の大きさ、工事の難度を視察、早期復旧の必要を確認しました。

〈前田記〉



嶺南変電所にて安全確認



北田地係県道崩落現場

## 議会活性化特別委員会 視察研修



議会活性化研修

去る5月18日(水)議会活性化特別委員会の視察研修を実施しました。行き先は現時点で議会改革が国内で最も進んでいると言われている京丹後市です。内容は(1)議会改革の取り組みは、4町合併を機に改革の必要性があった事、合併の成果を出すために、各町間の公平な行政が行われる事を監視する義務があったことを聞きました。(2)3月定例会議会報告会では議員が3班に分かれて町民に議会の内容を報告する集会を実際に見学させて頂きました。テーマの内容によって出席者のバラツキがあるようですが、町民から熱心な質問が出るなど、相当進んでいるという感じを受けました。今後、町民に浸透して、継続することが大切であると思えました。我々の議会におおいに参考となる研修でした。

〈浜野記〉

## 編集後記



東日本大震災は日本中に大きな衝撃と、不安を巻き起こしました。そんな関係で、議会だよりの中にも美浜発電所に関する安全対策に関する記事や、原子力を含む、自然災害の防災について、町の考え方が記されております。美浜町内で聞く、昼の「ふるさと」や夕方の「夕焼け小焼け」のメロディがいつまでも続くように願いたいものです。今年度も「議会だより」の益々の充実をめざして編集委員一同頑張ります。

〈樋下記〉

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】樋下 伸嗣
- 【副委員長】山口 和治
- 【委員】松坂 隆司・浜野 健治・藤本 悟・兵庫 賢一